

教科	社会(地理的分野)	学年	第1学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとめりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第1部 世界と日本の地域構成 第1章 世界の姿	7	○緯度と経度,大陸と海洋の分布,主な国々の名称と位置などを基に,世界の地域構成を大観し理解させる。 ○世界の地域構成の特色を,大陸と海洋の分布や主な国の位置,緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し,表現させる。 ○世界と日本の地域構成について,よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。	○緯度と経度,大陸と海洋の分布,主な国々の名称と位置などを基に,世界の地域構成を大観し理解している。	○世界の地域構成の特色を,大陸と海洋の分布や主な国の位置,緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し,表現している。	○世界の地域構成について,よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
第2章 日本の姿	6	○我が国の国土の位置,世界各地との時差,領域の範囲や変化とその特色などを基に,日本の地域構成を大観し理解させる。 ○日本の地域構成の特色を,周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し,表現させる。 ○日本の地域構成について,よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。	○我が国の国土の位置,世界各地との時差,領域の範囲や変化とその特色などを基に,日本の地域構成を大観し理解している。	○日本の地域構成の特色を,周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し,表現している。	○日本の地域構成について,よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

教科	社会(地理的分野)	学年	第1学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第2部 世界のさまざまな地域 第1章 人々の生活と環境	10	<p>○人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解させる。また、世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解させる。その際、世界の主な宗教の分布についても理解させる。</p> <p>○世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>○世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。</p>	<p>○人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解している。</p> <p>①世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解している。その際、世界の主な宗教の分布についても理解している。</p>	<p>○世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>○世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
第2章 世界の諸地域 第1節 アジア州	8	<p>○他地域との結びつきやアジア州という地域に着目し、人口増加と急激な経済発展を取り上げて、アジア州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を理解し考察させる。</p>	<p>○アジア州をいくつかの地域に分けて人口増加と急激な経済発展によるさまざまな影響を整理し、地域ごとの違いをふまえながらアジア州全体の地域的特色や課題を理解している。</p>	<p>○他地域との結びつきやアジア州という地域に着目し、人口増加と急激な経済発展を取り上げて、アジア州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を多面的・多角的に考察、表現させる。</p>	<p>○人口増加と急激な経済発展を中心に、アジア州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を主体的に追究し解決しようとしている。</p>

教科	社会(地理的分野)	学年	第1学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第2節 ヨーロッパ州	8	○他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、ヨーロッパ州で見られるEU統合や文化の多様性に関わる課題の要因や影響を、ヨーロッパ州の地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成させる。	○ヨーロッパ州に暮らす人々の生活をもとに、ヨーロッパ州の地域的特色を大観し、EU統合や文化の多様性に関わる課題が地域的特色の影響を受けて独自の様相を見せていることを理解する。	○他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、EU統合や文化の多様性に関わる課題の要因や影響をヨーロッパ州の地域的特色と関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現している。	○日本との比較をまじえながら、ヨーロッパ州の人々の生活に関心をもち、地域的特色及びEU統合や文化の多様性に関わる課題を意欲的に追究しようとしている。
第3節 アフリカ州	6	○他地域との結びつきやアフリカ州という地域に着目し、モノカルチャー経済からの脱却やアフリカ州の国々の発展や支援の在り方などを取り上げて、アフリカ州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を理解し考察させる。	○アフリカ州の人々の生活や産業の特色を歴史的背景をふまえて理解しているとともに、資料からアフリカ諸国とヨーロッパ諸国との関係の深さを調べまとめている。	○一つの国が輸出品を特定の農産物や鉱産資源にたよるようになった原因を追及し、そのような貿易形態の問題点を多面的多角的に考察し、解決に向けて選択・判断している。	○モノカルチャー経済やヨーロッパとの関係に着目しながら、アフリカ州の地域的特色に関心を高め、課題の解決を主体的に追究しようとしている。

教科	社会(地理的分野)	学年	第1学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第4節 北アメリカ州	7	○他地域との結びつきや北アメリカ州という地域に着目し、アメリカ合衆国を中心に巨大な産業が発達したことなどを取り上げて、北アメリカ州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を理解し考察させる。	○多様な民族が暮らすアメリカ合衆国において、広大な国土を利用して大規模な農業が行われていることや世界をリードし続けている工業の姿について理解しまとめている。	○北アメリカ州の地域的特色や課題を、そこに暮らす人々の生活のようすをもとに、多面的・多角的に考察している。	○世界に大きな影響を与える北アメリカ州の産業や文化について主体的に追究し、課題を解決しようとしている。
第5節 南アメリカ州	6	○他地域との結びつきや南アメリカ州という地域に着目し、農地や鉱山の開発が地域に影響したことなどを取り上げて、南アメリカ州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を理解し考察させる。	○多様な文化を受け入れながら独自の文化を形成してきた歩みと、経済成長をとげた国とそうでない国とが共存する地域の姿を理解するとともに、ブラジルでは経済発展が進む一方で、経済格差などの問題が生じていることを、本文や資料から調べまとめている。	○近年の顕著なブラジルの経済成長の要因と、経済成長とともに環境問題が起きていることやその解決を多面的・多角的に考察している。	○多民族の共存や近年の経済成長に着目しながら、南アメリカ州の地域的特色と農地や鉱山の開発の地域に対する影響を主体的に追究し、解決しようとしている。

教科	社会(地理的分野)	学年	第1学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第6節 オセアニア州	5	○他地域との結びつきやオセアニア州という地域に着目し、白豪主義から多文化社会への転換などを取り上げて、オセアニア州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を理解し考察させる。	○自然環境の影響を受けながら生活するオセアニア州に暮らす人々のようすと、多文化社会の問題点を克服しながら多様な民族が共存するオーストラリアやニュージーランドの社会を理解するとともに、地図や統計資料などから、オセアニア州とアジア州との深い関係を調べまとめている。	○オセアニア州の国々が、旧宗主国であるヨーロッパの国と密接な関係を保ちながら、近年アジアとのつながりを深めている理由や課題を多面的・多角的に考察している。	○広大な海洋を背景に展開される生活や、オーストラリアやニュージーランドの多文化社会に着目しながら、オセアニア州の地域的特色や地域の新たな課題を主体的に追究、解決しようとしている。

教科	社会(歴史的分野)	学年	第1学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第1章 歴史のとらえ方・調べ方 1節 私たちと歴史	3	○小学校で学習した歴史上の人物や建造物について振り返り、年表に整理する作業や「人物カード」を作る作業を通して、時代の特色や歴史の移り変わりへの興味・関心をもつ。 ○時代区分の方法や年代の表し方(西暦・世紀・年号[元号])について理解し、年表の表し方を身に付ける。	○課題を追究したり解決したりする活動を通して、年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解している。 ○課題を追究したり解決したりする活動を通して、資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けている。	○時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目して、小学校での学習を踏まえて歴史上の人物や文化財、出来事などから適切なものを取り上げ、時代区分との関わりなどについて考察し表現している。	○私たちと歴史の活動を通して、歴史学習に向けて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
2節 身近な地域の歴史	6	○身近な地域の歴史について、情報を収集したり、情報を整理し表現したりするなど、調べ学習の基礎を身に付ける。 ○諸資料や文化財を活用して、地域の歴史を多面的・多角的にとらえ、表現する。	○課題を追究したり解決したりする活動を通して、自らが生活する地域や受け継がれてきた伝統や文化への関心をもって、具体的な事柄との関わりの中で、地域の歴史について調べたり、収集した情報を年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けている。	○課題を追究したり解決したりする活動を通して、比較や関連、時代的な背景や地域的な環境、歴史と私たちとのつながりなどに着目して、地域に残る文化財や諸資料を活用して、身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。	○自らが生活する地域や受け継がれてきた伝統や文化への関心をもって、身近な地域の歴史について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

教科	社会(歴史的分野)	学年	第1学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第2章 原始・古代の日本と世界 1節 人類の出現と文明のおこり	5	○人類が出現し、やがて世界各地で古代文明がおこったことや、宗教がおこったことを理解する。 ○それぞれの古代文明には、農耕や牧畜を基盤にして築かれたこと、文字の使用、国家がおこったことなど、共通する特色があることを理解する。	○世界の古代文明や宗教のおこりを基に、考古学の成果をはじめとする諸資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめ、世界の各地で文明が築かれたことを理解している。	○古代文明や宗教がおこった場所や環境などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、世界の古代文明の特色や宗教のおこりについて多面的・多角的に考察し、表現している。	○人類が出現し、やがて世界各地で古代文明がおこったことについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
2節 日本の成り立ちと倭の王権	4	○日本列島で狩猟・採集を営んでいた人々の暮らしについて考える。 ○日本列島での農耕の広まりによる人々の生活の変化に気づき、国家が形成されていく過程のあらましを東アジアとの関わりを通して理解する。	○日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和政権による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめ、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解している。	○農耕の広まりや生産技術の発展などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、農耕の広まりによる人々の生活の変化や、大和政権による統一と東アジアとの関わりなどについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	○日本列島での人々の生活の変化と、国家が形成されていく過程について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

教科	社会(歴史的分野)	学年	第1学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
3節 大帝国の出現と律令国家の形成	3	<p>○7～8世紀の世界では、東西に大帝国が成立し、シルクロードを通じた国際交流が盛んになったことを理解する。</p> <p>○日本では、大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら、国家のしくみが整えられたことを理解する。</p>	<p>○律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめ、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解している。</p>	<p>○東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、東アジアの動きが政治に与えた影響などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>○7～8世紀の世界の動きや律令国家が形成されていく過程について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
4節 貴族社会の発展	6	<p>○天皇や貴族の政治が展開され、古代国家が発展していったことを理解する。</p> <p>○国際的な要素をもった文化が栄え、後に文化の国風化が進んだことを理解する。</p>	<p>○仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめ、国際的な要素をもった文化が栄え、それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解している。</p>	<p>○東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、都の貴族や地方の農民の暮らし、摂関政治と天平・国風文化の特色について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>○天皇や貴族の政治が展開され、古代国家が発展し、国際色豊かな文化から日本独自の文化が生み出されたことについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>

教科	社会(歴史的分野)	学年	第1学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第3章 中世の日本と世界 1節 武家政治の始まり	5	○武士が台頭して鎌倉幕府が成立し、その支配がしだいに全国に広まったことを理解する。 ○武士や民衆の活力を背景に生まれた新たな社会や文化の特色について考える。	○鎌倉幕府の成立、鎌倉時代の文化や仏教などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめ、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立したことなどを理解している。	○武士の政治への進出と展開や、東アジアにおける交流などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、武家政治の特徴について多面的・多角的に考察し、表現している。	○武士が台頭して鎌倉幕府が成立し、その支配が全国に広まるとともに、武士や民衆の活力を背景に生まれた社会や文化について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究している。
2節 ユーラシアの動きと武家政治の変化	5	○13世紀ごろの世界では、ユーラシア大陸に広がるモンゴル帝国(元)が成立し、東西の貿易や文化交流が盛んになったことを理解する。 ○南北朝の争乱や室町幕府の成立について、東アジア世界との密接な関わりとともに理解する。	○元軍の襲来や、南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめ、元軍の襲来がユーラシアの変化の中で起こったことや、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解している。	○モンゴル帝国(元)の拡大の様子や、武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、この時代の武家政治の動きとその特徴や、東アジアの動きが国内の政治や社会に与えた影響について多面的・多角的に考察し、表現している。	○武家政治の変化と東アジアの動きについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

教科	社会(歴史的分野)	学年	第1学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
3節 結びつく民衆と下剋上の社会	5	<p>○応仁の乱後の社会的な変動や戦国の動乱などから、武家政治の展開について理解する。</p> <p>○農業などの諸産業が発達し、畿内を中心とした都市や農村に自治的なしくみが成立したことを理解するとともに、室町文化には禅宗の影響や現在との結びつきがみられることに気づく。</p>	<p>○農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめ、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解している。</p>	<p>○農業や商工業の発達に着目して、事象を相互に関連付けるなどして、民衆の成長が社会に与えた影響について多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>○民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>

教科	社会(地理的分野)	学年	第2学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第3部 日本のさまざまな地域 第2章 日本の地域的特色	11	<p>○日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、自然災害と防災への取組などを基に、日本の自然環境に関する特色を理解させる。</p> <p>○少子高齢化の課題、国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に、日本の人口に関する特色を理解させる。</p> <p>○日本の資源・エネルギー利用の現状、国内の産業の動向、環境やエネルギーに関する課題などを基に、日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を理解させる。</p> <p>○国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況、これを活用した陸上、海上輸送などの物流や人の往来などを基に、国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解させる。</p> <p>○「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分を踏まえ、我が国の国土の特色を大観し理解させる。</p> <p>○日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に、地域区分をする技能を身に付けさせる。</p> <p>○「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目について、それぞれの地域区分を、地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>○日本の地域的特色を、「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分などに着目して、それらを関連付けて多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>○日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。</p>	<p>○日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、自然災害と防災への取組などを基に、日本の自然環境に関する特色を理解している。</p> <p>○少子高齢化の課題、国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に、日本の人口に関する特色を理解している。</p> <p>○日本の資源・エネルギー利用の現状、国内の産業の動向、環境やエネルギーに関する課題などを基に、日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を理解している。</p> <p>○国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況、これを活用した陸上、海上輸送などの物流や人の往来などを基に、国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解している。</p> <p>○「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分を踏まえ、我が国の国土の特色を大観し理解している。</p> <p>○日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に、地域区分をする技能を身に付けている。</p>	<p>○「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目について、それぞれの地域区分を、地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○日本の地域的特色を、「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分などに着目して、それらを関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>○日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>

教科	社会(地理的分野)	学年	第2学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第3章 日本の諸地域 第1節 九州地方	7	他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、九州地方の特色ある地理的事象を他の事象と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成する。	地図や資料から、九州地方の自然環境の特色やそれを生かした産業、自然災害や防災への取り組みを読み取り、九州地方の地形や気候などの自然環境に関する特色や、人々の生活や産業と自然環境とのかかわりについて理解している。	自然環境に注目しながら、九州地方に暮らす人々の生活と産業との関係について多面的・多角的に考察している。	九州地方の自然環境と生活、産業との関係について関心を持ち、九州地方の特色を主体的に追究しようとしている。
第2節 中国・四国地方	4	他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、中国・四国地方の特色ある地理的事象を他の事象と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成させる。	地図や資料から、中国・四国地方の交通・通信網による結びつきを具体的にとらえ、他地域との結びつきに注目した視点で産業や生活の変化を理解している。	他地域との結びつきや産業の変容を、人や物の移動の量や方向から多面的・多角的に考察している。	中国・四国地方の歴史や地形、他地域との結びつきに関心を持ち、それを主体的に追究している。

教科	社会(地理的分野)	学年	第2学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第3節 近畿地方	5	他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、近畿地方の特色ある地理的事象を他の事象と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成させる。	地図や資料から、近畿地方の自然環境や歴史的景観の保全について読み取り、環境保全に注目した視点から、近畿地方の地域的特色を理解している。	自然環境や歴史的景観の保全に注目しながら、そこに住む人々の生活や産業の変化などとの関係について、原因と対策、目的の面から多面的・多角的に考察している。	自然環境や歴史的景観の保全の視点からみた近畿地方の地域的特色に関心を持ち、自然環境や人々の生活、産業などと関連させながら、主体的に追究している。
第4節 中部地方	6	他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、中部地方の特色ある地理的事象を他の事象と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成させる。	さまざまな資料を活用して、中部地方の三つの地域の産業の特色と変化を読み取り、その地形や自然環境などにより異なる産業が発達したことを理解している。	中部地方の三つの地域において、さかんな産業に違いがある理由や、それぞれの産業が発達した理由について多面的・多角的に考察している。	産業の視点からみた中部地方の特色に関心を持ち、自然環境や人々の生活と関連させながら、主体的に追究している。

教科	社会(地理的分野)	学年	第2学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第5節 関東地方	6	他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、関東地方の特色ある地理的事象を他の事象と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成させる。	関東地方の地域的特色やそれと関連する事象とそこに生ずる課題について理解している。	関東地方における人口の集中が成立する条件を、地域の広がりや他地域との結びつき、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と関連づけて、多面的・多角的に考察し、表現している。	地域の広がりや他地域との結びつき、人々の対応などに着目しながら、関東地方に暮らす人々の生活に監視をもち、地域的特色や地域の課題を意欲的に追求しようとしている。
第6節 東北地方	6	他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、東北地方の特色ある地理的事象を他の事象と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成させる。	地図や写真・雨温図などから、東北地方の自然環境の特色や、伝統的な祭りや工芸品の特色を読み取り、東北地方の地域的特色について理解している。	東北地方の産業の発達を写真や地図・グラフなどを活用してとらえ、人々の生活の変化と、それともなう東北地方の産業の課題を多面的・多角的に考察している。	東北地方を伝統的な祭りや工芸品、町なみの特色など生活・文化の視点から、関心をもって主体的に追究している。

教科	社会(地理的分野)	学年	第2学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第7節 北海道地方	5	他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、北海道地方の特色ある地理的事象を他の事象と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成させる。	地図や雨温図、統計資料などから北海道地方の地域的特色に関する情報を読み取り、北海道地方について、自然環境に注目した視点から地域的特色を理解している。	産業や開発の歴史に関する特色あることがらに注目して、自然環境や外国とのかかわりなどと関連づけて多面的・多角的に考察している。	自然環境に注目した視点から、自然環境・産業や都市の発展と変化などに関心を持ち、北海道地方の特色を主体的に追究している。
第3部 日本のさまざまな地域 第1章 身近な地域の調査	2	場所などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。 ○観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解させる。 ○地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付けさせる。 ○地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現させる。 ○地域調査の手法について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。	○観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解させる。 ○地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付けさせる。	地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現させる。	地域調査の手法について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。

教科	社会(歴史的分野)	学年	第2学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第4章 近世の日本と世界 2節 天下統一への歩み	5	○織田信長・豊臣秀吉による全国の統一事業や、朝鮮への出兵などの対外関係についてとらえ、近世社会の基礎がつくられていったことを理解する。 ○海外から南蛮文化などが取り入れられる一方で、武将や豪商の気風や経済力を背景とした豪壮・華麗な文化が生み出されたことに気づく。	織田信長・豊臣秀吉による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめ、近世社会の基礎がつくられたことを理解している。	統一政権の諸政策の目的などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、中世社会から近世社会への変化が生み出され、日本の政治や文化に与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現している。	信長・秀吉による統一事業により、近世社会の基礎がつくられていったことについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
3節 幕藩体制の確立と鎖国	7	○江戸幕府の成立と大名統制、鎖国政策と鎖国下の対外関係、身分制度の確立と農村の様子をとらえ、幕府の政治の特色について考える。 ○江戸幕府により、幕府と藩による支配が確立したことを理解する。	江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめ、幕府と藩による支配が確立したことを理解している。	統一政権の諸政策の目的などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、江戸幕府により全国を支配する仕組みが作られ、都市や農村における生活が変化したことや、安定した社会が構築されたことなどについて多面的・多角的に考察し、表現している。	江戸幕府の成立と、幕藩体制による支配の確立について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

教科	社会(歴史的分野)	学年	第2学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4節 経済の成長と幕政の改革	7	<p>○産業や交通の発達, 教育の普及と文化の広がりについてとらえ, 町人文化が都市を中心に形成されたことや, 各地方の生活文化が生まれたことを理解する。</p> <p>○貨幣経済の広まりや百姓一揆などの農村の変化, 江戸幕府の政治改革について理解するとともに, 新しい学問・思想の動きに気づく。</p>	<p>産業や交通の発達, 教育の普及と文化の広がりや, 社会の変動や欧米諸国の接近, 幕府の政治改革, 新しい学問・思想の動きなどを基に, 諸資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめ, 町人文化が都市を中心に形成されたことや, 各地方の生活文化が生まれたこと, 幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解している。</p>	<p>産業の発達と文化の担い手の変化や, 社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して, 事象を相互に関連付けるなどして, 都市を中心とした経済が形成されていく中で, 日本の文化の空間的な広がりが生み出され, それを背景として各地方の生活文化が生まれたことや, 生産技術の向上や交通の整備と町人文化の特徴, 貨幣経済が農村に広がる中で経済的な格差が生み出され, それを背景として百姓一揆がおこったことや, 社会や経済の変化への対応としての諸改革の展開などについて多面的・多角的に考察し, 表現している。</p>	<p>産業の発達, 教育の普及と文化の広がり, 農村の変化, 江戸幕府の政治改革など, 日本の近世社会の発展と変化について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
<p>第5章 日本の近代化と国際社会</p> <p>1節 近代世界の確立とアジア</p>	7	<p>○欧米諸国が, 市民革命や産業革命により近代社会を成立させたことを理解する。</p> <p>○近代社会を成立させた欧米諸国が, 新たな市場や原料の供給地を求めてアジアへ進出したことについて考える。</p>	<p>欧米諸国における産業革命や市民革命, アジア諸国の動きなどを基に, 諸資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめ, 欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。</p>	<p>工業化の進展と政治や社会の変化などに着目して, 事象を相互に関連付けるなどして, 欧米諸国の市場や原料供給地を求めたアジアへの進出が, 日本の政治や社会に与えた影響などについて多面的・多角的に考察し, 表現している。</p>	<p>欧米諸国が市民革命や産業革命により近代社会を成立させ, アジアへ進出していったことについて, よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>

教科	社会(歴史的分野)	学年	第2学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
2節 開国と幕府政治の終わり	4	<p>○社会の変動や欧米諸国の接近に対する江戸幕府の対応・政治改革についてとらえ、幕府政治がしだいに行き詰まりをみせたことを理解する。</p> <p>○幕末の開国と、その政治的・社会的な影響について、欧米諸国のアジア進出との関わりから理解する。</p>	<p>開国とその影響などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報について調べてまとめ、開国によって人々の生活が大きく変化したことを理解している。</p>	<p>幕府が対外政策を転換して開国したことなどに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、開国が政治や人々の生活に与えた影響について多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>欧米諸国のアジア進出が日本の開国をもたらしたことや、開国の影響と江戸幕府の滅亡について、よりよい社会の実現を視野に主体的に追究しようとしている。</p>
3節 明治維新と立憲国家への歩み	7	<p>○新政府による政治の改革や、富国強兵・殖産興業の政策、文明開化の動きについてとらえ、明治維新により近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解する。</p> <p>○自由民権運動や大日本帝国憲法の制定についてとらえ、立憲制の国家が成立して議会政治が始まったことを理解する。</p>	<p>富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報について調べてまとめ、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて人々の生活が大きく変化したことや、立憲制の国家が成立して議会政治が始まったことを理解している。</p>	<p>明治政府の諸改革の目的や、議会政治の展開などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、明治政府の諸改革が政治や文化や人々の生活に与えた影響や、現代の政治とのつながりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>明治維新によって近代国家の基礎が整えられ、人々の生活が大きく変化したことや、立憲制の国家が形成されたことについて、よりよい社会の実現を視野に主体的に追究しようとしている。</p>

教科	社会(歴史的分野)	学年	第2学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
激動する東アジアと日清・日露戦争	5	○日清戦争と日露戦争を通して日本が列強の仲間入りを果たしてことを理解する。	○日清戦争、日露戦争の国際関係を把握し、朝鮮に進出しようとする過程と意図を理解している。	○地図や風刺画などの資料から当時の国際関係を簡潔に説明している。	○二回の戦争によって社会にどのような影響が起きたのか、主体的に追及しようとしている。
近代の産業と文化の発展	6	○二回の戦争を通して、日本の産業が発展していったことを理解し、当時の日本社会に及ぼした影響を多面的・多角的に考察することができる。	○日本の産業構造の変化について理解している。	○資料から日本の産業構造の変化について説明している。	○日本の産業革命によって社会にどのような影響が起きたのか、主体的に追及しようとしている。

教科	社会(歴史的分野)	学年	第2学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第一次世界大戦と民衆独立の動き	5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第一次世界大戦の背景とその影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きなどに着目して、事象を相互に関連付けるなどして国際情勢の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。 ○ 第一次世界大戦前後の国際情勢について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第一次世界大戦の背景・経過・結果や影響から、戦争の概要を理解している。 ○ ロシア革命の背景と経過、計画経済について理解している。 ○ 第一次世界大戦の原因と、世界や日本への影響を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ロシア革命に対する日本の動きを理解し、ロシア革命の様子を考察し、表現している。 ○ 大戦後の国際協調や民主主義の動きを、大戦の規模や犠牲者の数などに関連付けて考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第一次世界大戦前後の国際情勢について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

教科	社会(歴史的分野)	学年	第3学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
明治維新と立憲国家への歩み	4	<p>○新政府による政治の改革や、富国強兵・殖産興業の政策、文明開化の動きについてとらえ、明治維新により近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解する。</p> <p>○自由民権運動や大日本帝国憲法の制定についてとらえ、立憲制の国家が成立して議会政治が始まったことを理解する。</p>	<p>○富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報について調べてまとめ、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて人々の生活が大きく変化したことや、立憲制の国家が成立して議会政治が始まったことを理解している。</p>	<p>○明治政府の諸改革の目的や、議会政治の展開などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、明治政府の諸改革が政治や文化や人々の生活に与えた影響や、現代の政治とのつながりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>○明治維新によって近代国家の基礎が整えられ、人々の生活が大きく変化したことや、立憲制の国家が形成されたことについて、よりよい社会の実現を視野に主体的に追究しようとしている。</p>
激動する東アジアと日清・日露戦争	4	<p>○日清戦争と日露戦争を通して日本が列強の仲間入りを果たしたことを理解する。</p> <p>○二回の戦争を通して、日本の産業が発展していったことを理解し、当時の日本社会に及ぼした影響を多面的・多角的に考察することができる。</p>	<p>○日清戦争、日露戦争の国際関係を把握し、朝鮮に進出しようとする過程と意図を理解している。</p> <p>○日本の産業構造の変化について理解している。</p>	<p>○地図や風刺画などの資料から当時の国際関係を簡潔に説明している。</p> <p>○資料から日本の産業構造の変化について説明している。</p>	<p>○二回の戦争によって社会にどのような影響が起きたのか、主体的に追及しようとしている。</p>

教科	社会(歴史的分野)	学年	第3学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第一次世界大戦と民族独立の動き	4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第一次世界大戦の背景とその影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きなどに着目して、事象を相互に関連付けるなどして国際情勢の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。 ○ 第一次世界大戦前後の国際情勢について、ここで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第一次世界大戦の背景・経過・結果や影響から、戦争の概要を理解している。 ○ ロシア革命の背景と経過、計画経済について理解している。 ○ 第一次世界大戦の原因と、世界や日本への影響を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ロシア革命に対する日本の動きを理解し、ロシア革命の様子を考察し、表現している。 ○ 大戦後の国際協調や民主主義の動きを、大戦の規模や犠牲者の数などに関連付けて考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第一次世界大戦前後の国際情勢について、ここで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
大正デモクラシー	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 世界の動きと我が国との関連などに着目して、第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現について、ここで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に、第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きを理解している。 ○ 大正時代に日本で民主主義の風潮が高まった理由を理解している。 ○ 関東大震災の概要を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大正デモクラシーの思想を現代と比較して考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現について、ここで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

教科	社会(歴史的分野)	学年	第3学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
恐慌から戦争へ	4	○経済の世界的な混乱と社会的問題の発生、第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、アジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを基に戦争までの経過と、大戦が我が国と人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解させる。	○世界恐慌の概要と欧米諸国の対応を各国別に理解している。 ○世界の動きと関連させながら、日本の政治の流れを理解している。	○世界恐慌の原因を資本主義経済の仕組みと関連付けて考察し、表現している。 ○政党内閣が信頼を失っていった理由を、考察し、表現している。 ○日本が日中戦争に向かった理由を、国際的な経済状況と関連付けて考察し、表現している。	○第一次世界大戦前後の国際情勢、人類への惨禍について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
第二次世界大戦と日本の敗戦	4	○戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、第二次世界大戦と人類への惨禍について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。	○ヨーロッパで起こった戦争の様子を地図や写真から読み取り、原因や経過を理解している。 ○第二次世界大戦の原因と、世界や日本への影響を理解している。	○第二次世界大戦と人類への惨禍について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ○第二次世界大戦の原因と、世界や日本への影響を、大戦下の国民生活と関連付けて考察し、表現している。	○第二次世界大戦と人類への惨禍について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

教科	社会(歴史的分野)	学年	第3学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日本の民主化と冷戦	8	<p>○第二次世界大戦後の諸改革の特色や、世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解させる。</p> <p>○日本の民主化について、現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>○冷戦下の国際社会、日本の経済の発展について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。</p>	<p>○戦後の民主化と諸改革の特色や、世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解している。</p> <p>○冷戦、国際社会への復帰などを基に、我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し、国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解している。</p> <p>○マスメディアによる文化の普及と国民生活との関係を考察し、表現する。</p>	<p>○戦後改革の展開と国際社会の変化、政治の展開と国民生活の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、日本の民主化について、現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○冷戦という新たな国際体制の成立と影響を、アメリカとソ連の動向を基に、考察し、表現している。</p> <p>○冷戦下で日本が経済成長することができた理由について、世界情勢と関連付けて考察し、表現している。</p>	<p>○日本の民主化について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p> <p>○冷戦下の国際社会、日本の経済の発展について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>
世界の多極化と日本	4	<p>○第二次世界大戦後の諸改革の特色や、世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解させる。</p> <p>○日本の民主化について、現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>○冷戦下の国際社会、日本の経済の発展について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。</p>	<p>○戦後の民主化と諸改革の特色や、世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解している。</p> <p>○冷戦、国際社会への復帰などを基に、我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し、国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解している。</p> <p>○マスメディアによる文化の普及と国民生活との関係を考察し、表現する。</p>	<p>○戦後改革の展開と国際社会の変化、政治の展開と国民生活の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、日本の民主化について、現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○冷戦という新たな国際体制の成立と影響を、アメリカとソ連の動向を基に、考察し、表現している。</p> <p>○冷戦下で日本が経済成長することができた理由について、世界情勢と関連付けて考察し、表現している。</p>	<p>○日本の民主化について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p> <p>○冷戦下の国際社会、日本の経済の発展について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立松江第五中学校

教科	社会(歴史的分野)	学年	第3学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
冷戦の終結とこれからの日本	4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国際社会との関わり、冷戦の終結などを基に、我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し、国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解している。 ○ 現在の日本の課題を捉え、SDGsと関連させて、どのように解決すべきかを考察し、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 冷戦が終結し、国際協調による地域統合が進む一方で、国家を超えた紛争が多発していることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 冷戦後の日本の課題の原因が過去にあり、現在でも続いていることを考察し、表現している ○ 現在の日本の課題をSDGsと関連させて、どのように解決すべきかを考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の経済の発展とグローバル化する世界について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

教科	社会(公民的分野)	学年	第3学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
現代社会の特色と私たち	5	<p>○現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解させる。</p> <p>○私たちが生きる現代社会と文化の特色について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。</p>	<p>○現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解している。</p> <p>○人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解している。</p>	<p>○少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>○現代社会を捉える枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>
私たちの生活と文化	4	<p>○現代社会における文化の意義や影響について理解させる。</p> <p>○文化の特色について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。</p>	<p>○文化の具体的な内容を、科学、宗教、芸術の分野を例に挙げ、理解している。</p> <p>○科学、宗教、芸術の分野を例に文化の果たす役割について考察し、表現している。</p> <p>○多文化共生とはどのようなことを意味しているか、本文の読み取りを通して理解している。</p>	<p>○伝統文化を継承し、保持するために私たちにできることは何かを考察し、表現している。</p> <p>○多文化共生の社会を築くために、私たちにできる具体的な取り組みについて考察している。</p>	<p>○文化の特色について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。</p>

教科	社会(公民的分野)	学年	第3学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
現代社会の見方や考え方	4	<p>○自分が家族や地域社会などの複数の社会集団に所属していることや、人間が社会的存在であることを理解する。</p> <p>○物事の決定の仕方や決まりの意義について理解する。</p> <p>○必要に応じて決まりを見直すことの重要性を理解する。</p> <p>★オリンピック・パラリンピックを通して日本の文化の特徴を再考しまとめてみる。</p>	<p>○自分が家族や地域社会などの複数の社会集団に所属していることや、人間が社会的存在であることを理解している。</p> <p>○必要に応じて決まりを見直す意義について、身の回りでルールが変わった例を通して理解している。</p>	<p>○社会集団における対立の存在に気付くとともに、合意を目指すことが重要であることについて考察し、表現している。</p> <p>○ルールを見直す際の見直し方について対立と合意、効率と公正に着目して考察している。</p>	<p>○現代社会を捉える枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。</p> <p>★東京オリンピック・パラリンピックへの関心を高め、世界に発信したいと考える日本の文化の学習を通して、主体的に社会に関わろうとしている。</p>
人権と日本国憲法	5	<p>○人権思想の歴史など歴史的分野の学習内容を踏まえて、日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解させる。</p> <p>○日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解させる。</p> <p>○個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、日本国憲法が大切にされてきた理由について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。</p>	<p>○人権思想の歴史など歴史的分野の学習内容を踏まえて、日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。</p> <p>○個人の尊重とはどのようなことを意味しているか理解している。</p>	<p>○立憲主義が重要な理由を、人の支配と法の支配の違いや憲法の役割に着目して、適切に表現している。</p> <p>○日本国憲法の仕組みの特色を、大日本帝国憲法との違いに着目して適切に表現している。</p>	<p>○日本国憲法が大切にされてきた理由について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>

教科	社会(公民的分野)	学年	第3学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
人権と共生社会	9	<p>○人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解させる。</p> <p>○人権保障が大切にされている理由について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。</p>	<p>○現在も日本に残っている差別の例を本文の読み取りを通して理解している。</p> <p>○人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解している。</p>	<p>○差別をなくすために重要なことを、個人の尊重の観点から考察し、表現している。</p> <p>○日本国憲法において、人権保障が大切にされている理由について、対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察、表現している。</p> <p>○共生社会の実現のために必要なことを平等権の学習全体を通して考察し、表現している。</p>	<p>○具体的な事例を基に、日本国憲法で人権を保障することが大切な理由を、自らの学習を振り返りながら粘り強く考察することを通して、主体的に社会に関わろうとしている。</p>
これからの人権保障	4	<p>○社会の変化に伴って新しい人権が認められてきた理由について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。</p> <p>◆情報化の進展に伴う具体的な課題を資料から読み取り、認められてきた権利との関係を理解する。</p>	<p>○社会の変化に伴って人権の考え方が変化していく中でも、民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解している。</p> <p>○環境権や自己決定権など「新しい人権」が認められてきた理由について、理解している。</p> <p>◆情報化の進展に伴う具体的な課題と認められてきた権利の関係について、理解している。</p>	<p>○個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、対話的な活動を通じ、社会の変化に伴って新しい人権が認められてきた理由について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○新しい人権がどのような対立を解消するためのものか、その関係について、適切に表現している。</p> <p>◆インターネットの発達など、情報化の進展に伴ってどのような課題が生まれどのような権利が認められてきたのか、適切に表現している。</p>	<p>○社会の変化に伴って新しい人権が認められてきた理由について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>

教科	社会(公民的分野)	学年	第3学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
現代の民主政治	5	<ul style="list-style-type: none"> ○我が国の民主政治の仕組みのあらましや議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用の在り方について理解させる。 ○地方自治の基本的な考え方について理解させる。 ○民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用の在り方について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
国の政治の仕組み	9	<ul style="list-style-type: none"> ○国会の地位と仕組みについて理解する。 ○国会・内閣・裁判所の主な仕事について、理解する。 ○国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割について、また、国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○国会の主な仕事について、本文や資料の読み取りを通して理解している。 ○内閣の主な仕事について、本文や資料の読み取りを通して理解している。 ○裁判所の種類と、それぞれが行っている裁判について本文や資料の読み取りを通して理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○国会が「国権の最高機関」とされている理由について、民主主義に着目して考察し、適切に表現している。 ○日本の内閣と国会との関係について、考察し、表現している。 ○司法権の独立の原則が必要な理由について、個人の尊重に着目して考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

教科	社会(公民的分野)	学年	第3学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地方自治と私たち	6	<ul style="list-style-type: none"> ○地方自治の基本的な考え方について理解させる。 ○民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地方自治の基本的な考え方について理解している。その際、地方公共団体の政治の仕組み、住民の権利や義務について理解している。 ○住民が地方公共団体の政治に参加する方法について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地方自治が「民主主義の学校」と呼ばれる理由について、地方自治の原則に着目して考察し、表現している。 ○民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
消費生活と市場経済	4	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解させる。 ○現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解させる。 ○勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解させる。 ○国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解している。 ○市場経済の基本的な考え方について理解している。 ○生産や金融などの仕組みや働きを理解している。 ○労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解している。 ○財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し、表現している。 ○社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、表現している。 ○国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ○財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

教科	社会(公民的分野)	学年	第3学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生産と労働	9	<ul style="list-style-type: none"> ○現代の生産などの仕組みや働き、勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解させる。 ○社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察させ、表現させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○現代の生産などの仕組みや働き、勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解している 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
市場経済の仕組みと金融	6	<ul style="list-style-type: none"> ○市場経済の基本的な考え方について理解させる。 ○現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解させる。 ○個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し、表現させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○市場経済の基本的な考え方について理解している。その際、市場における価格の決まり方や資源の配分について理解している。 ○現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

教科	社会(公民的分野)	学年	第3学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
財政と国民の福祉	4	○国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。	○社会資本の整備、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解している。 ○財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解している。	○国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ○政府の財政政策と景気との関係について、公共投資や民間企業と関連付けながら考察し、表現している。	○国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
これからの経済と社会	2	○公害の防止など環境の保全について、その意義を理解させる。 ○市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。 ○国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。	○環境保全と経済成長の両立のためになされている公害の防止など環境の保全について、その意義を理解している。	○市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	○国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

教科	社会(公民的分野)	学年	第3学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
国際社会の仕組み	6	<p>○国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解させる。</p> <p>○日本国憲法の平和主義を基に、我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察し、表現させる。</p>	<p>○世界平和の実現と人類の福祉のためには、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解している。</p> <p>○領土(領海、領空を含む。)、国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項について理解している。</p>	<p>○日本国憲法の平和主義を基に、我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p>	<p>○世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>
さまざまな国際問題	5	<p>○地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解させる。</p> <p>○日本国憲法の平和主義を基に、我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。</p>	<p>○地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解している。</p> <p>○地球温暖化が起こっている理由について、本文や資料の読み取りを通して理解している。</p> <p>○難民問題の解決に必要な取り組みについて、協調や持続可能性の観点から考察している。</p>	<p>○地球環境問題の解決のために重要なことを、協調の観点から考察し、表現している。</p> <p>○我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p> <p>○日本国憲法の平和主義を基に、我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p>	<p>○世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>

教科	社会(公民的分野)	学年	第3学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
これからの地球社会と日本	6	<p>○国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、相互理解が大切であることを理解させる。</p> <p>○日本国憲法の平和主義を基に、我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について考察し表現させる。</p> <p>○現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。</p>	<p>○世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力が大切であることを理解している。</p>	<p>○日本国憲法の平和主義を基に、我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p>	<p>○世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>
3年間の復習	7	<p>○私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題について、社会的な見方・考え方を働かせ、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。</p>	<p>○中学校社会科の地理的分野・歴史的分野・公民的分野で学んだこと。</p>	<p>○社会的な見方・考え方を働かせ、私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察、構想し、自分の考えを説明、論述している。</p>	<p>○私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>